

JPDA 4月臨時理事会議事録

日 時：平成29年4月19日（水）午後1時30分～午後5時

場 所：文京シビックセンター（区民会議室） 5階 会議室 A

出席者：理事24名中23名（加藤芳夫、伊藤 透、青木（入江）あずさ、井上 聡、
牛島志津子、梅原 真、江藤正典、小川裕子、小川 亮、加藤（桑）和美、
加藤憲司、小原 司、佐野暁子（文胡）、竹内清高、中越 出、永島 学、
永田麻美、中森恭平、信藤洋二、藤田 隆、森 孝幹、八木勇達、山崎 茂）
欠席届（畝野裕司）
監事2名中2名（池田 毅、時田秀久）

議事の経過：

定款第31条（議長）により加藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者23名を確認、定款第32条（決議）による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が加藤芳夫理事長、伊藤透副理事長、池田毅監事、時田秀久監事の4氏であることを確認し、議事に入る。

（決裁事項の議案号数はゴシック。）

第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに入会申込み法人1社、個人2人があり、定款6条並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の法人1社、個人2人の入会を承認した。

（1）法人会員（1社）

<東日本>

株式会社オーディオテクニカ（推薦者=時田秀久）

（2）個人会員（2人）

<東日本>

内田喜基（よしき）（推薦者=時田秀久）

<西日本>

高橋寛考（ともたか）（推薦者=時田秀久）

第2号議案 再入会入会審査の件

本日の理事会までに再入会申込み個人1人があり、定款6条並びに会員規定に基づき再入会審査を行い、下記の個人会員1人の再入会を承認した。

(1)個人会員（1人）

<東日本>

松井 孝（人事異動のため：ポーラ美術館 副館長代理）

第3号議案 休会承認の件

本日の理事会までに休会届を提出した個人会員1人の休会を承認した。

(1)個人会員（1人）

<東日本>

小比類巻 蘭（病気療養のため）[平成29年4月～平成31年3月休会希望]

第4号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した法人会員1社、個人会員6人、賛助会員1社の退会を承認した。

(1)法人会員（1社）

<東日本>

株式会社トッパンプロスプリント（業務移管により当該部署が統合されるため）

[平成29年3月末退会希望]

(2)個人会員（6人）

<東日本>

鈴木智晴（法人会員『株式会社ポーラ』の代表となるため）

[平成29年2月末退会希望]

※株式会社ポーラの法人会員代表者変更届も受理しています。

海津博美（家庭の事情により） [平成29年3月末退会希望]

田村俊亮（しゅんすけ）（会社の方針変更により） [平成29年3月末退会希望]

木口章人（諸般の事由により） [平成29年3月末退会希望]

大川和枝（諸般の事情により） [平成29年3月末退会希望]

小泉勝代（アルビオン退社のため） [平成29年4月末退会希望]

(3)賛助会員（1社）

<東日本>

エージェント・ハムヤック株式会社（デザイン会社でなく、JPDAをうまく活用できなかったため） [平成29年3月末退会希望]

第5号議案 協会名義使用承認の件

加藤理事長、渡邊事務局長より下記の5件については、これまでに協会名義使用承認実績があることから、既に回答済みであることが案内された。

(1) 後援名義使用の依頼（3件）

- ・「World Interiors Week 2017 in Japan」
(主催：公益社団法人日本インテリアデザイナー協会)
<東京ミッドタウンタワー5階：5月29日～6月3日>
- ・「インテリアライフスタイル」(主催：メサゴ・メッセフランクフルト株式会社)
<東京ビッグサイト：6月14日～16日>
- ・「2017年日本パッケージングコンテスト」(JPDA賞)
(主催：公益社団法人日本包装技術協会)
<審査日：6月15日、表彰式：8月30日（東京ガーデンパレス）>

(2) 協賛名義使用の依頼（2件）

- ・第84回「東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2017」
(主催：株式会社ビジネスガイド社)
<東京国際展示場：9月6日～8日>
及び、第84回「東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2017 LIFE×DESIGN」
<東京国際展示場：8月30日～9月2日>
- ・第47回「日本プロモーション・マーケティング協会展」
(主催：日本プロモーション・マーケティング協会)
<東京都立産業貿易センター（台東館）：9月26～28日>

第6号議案 正副理事長報告

下記の報告の前に、加藤理事長よりASPac設立の経緯、現状の課題、今後のJPDAとの関わり方についての説明とASPac加藤事務局長より現状の活動についての報告があった。

- ・加藤理事長からは、「ASPac事業は当初アジア学生のデザイン教育をサポートする意図で、外務省主管の国際交流基金から資金的な援助を得て、JPDAの国際交流事業（公益事業）の一環として立ち上げることを考えていたが、内閣府よりそのスキームでは公益事業にはならないとの指摘があったため、国際交流基金とJPDAとの委受託契約でスタートした。その後、国際交流基金からのよりスムーズな運用を図りたいとの要望を受けて、一般社団法人ASPac協会が設立され、JPDAはASPac協会から業務委託を受ける形で今日に至っている。ASPacの事業は『パッケージデザインに携わる学生を育成する』という事業であり、JPDAの理念とも合致している。ASPacの活動に参加することで、日本の学生がアジアの人、作

品に対峙することであらためて自分を認識し、それが彼らの成長につながっていくことに期待したい。

今日の理事会でASPaC事業についての理解を深めていただき、これからJPDAとして積極的にこの事業に関わっていきけるようにしていきたいと考えている。実際、ASPaCの活動は多岐に渡っており、JPDAのいろいろな委員会（教育、調査研究、コンペティション等）が協力することができると思う。」という発言があった。

- ・ASPaC加藤事務局長からは「この事業は10年前に当時関係が悪化していた日韓の関係改善を目的として、国際交流基金がパッケージという分野で官・民が一体となった事業を立ち上げようとしたことが発端となっており、当初はJPDAとの『共催』という形で考えていたが、内閣府の了解が得られなかったため、JPDAとの『委受託契約』で事業をスタートさせ、その後国際交流基金とのよりスムーズな関係をつくるためにASPaC協会を設立した経緯については加藤理事長からの説明にあったとおりである。

これまでJPDAからは理事、委員等の人的援助、及び海外派遣、海外からの招聘、国内でのワークショップ等多方面でご協力をいただいていた。

一方で、国際交流基金からの資金援助も2020年までの限定的なものなので、毎年の資金援助があるうちにアジアの専門家同士のネットワークを作って、アジア各国にJPDA的な組織を育成していくことでパッケージデザインという分野の活性化を促すとともに、国際化という意味で、JPDAのアジアでの立ち位置を高めることに役立てていただきたい。」というコメントがあった。

- ・今後の具体的な進め方についてはJPDAのアスパック実行委員会で議論して方向性を決めていくとともに、他の理事から言われている、JPDAとASPaC間の情報の共有化があまりされていないという指摘に対しては、今後理事会での報告を徹底することで改善を図っていくこととしたい。

- 加藤理事長報告
- ・ 3/14 文科省、経産省来社：デザイン専門学校（すぐに役立つ人材を育成するための職業大学）設立に向けての聞き取り（山崎事務局長同席）
 - ・ 4/18 「第56回2017ジャパンパッケージングコンペティション」の表彰式でJPDA賞授与。（主催：日本印刷産業連合会）

伊藤副理事長報告 とくになし

第7号議案

<決済事項>

○教育（永田理事からの報告）

- ・「第43回パッケージデザインセミナー」を3月2日、8日の2回、スマイルズ社3Fセミナールームで25名の出席者をえて開催した。
今回はスマイルズ社の事業例、その発想の視点、クリエイティブに関するセミナーと、「100本のスプーン」における「新しい家族の日」を企画するワークショップという2日に渡る内容であり、出席者にとっては普段の仕事とは違う着眼点や進め方を学ぶことができた有意義なものだったと考えている。
とくにそこで「新しい家族の日」として提案された<家族の忘年会>、<ラブレター記念日>の2案がスマイルズで採用され、実施の方向で検討されていることはいままでのワークショップにはなかったことであり、JPDAにとっても大きな実績になると思われる。
- ・加藤理事長より、「採用された案の提案者にはとくに報酬は考えていないとのことだが、権利上、税務上問題がでないように、スマイルズと提案者との間に契約書、覚書等の書類を交わしておいてほうがよいのではないか」との意見があった。教育委員会としてはこの件についてスマイルズサイドに確認するとのこと。
- ・この事業活動収支（公益会計）については収入合計525,000円（参加費）、会場費、諸謝金等の支出合計459,213円、収支差額65,787円が承認された。

○中日本（北陸）（畝野理事欠席のため渡邊事務局長が活動報告書を代読）

- ・「富山デザインフェア2016」は従来の講演形式のセミナーとは別に、若手デザイナーや学生を対象とする対話型の実践的な講座を実施した。出席者は学生35名、一般11名の計46名であった。
- ・この事業活動収支（公益会計）については、収入合計100,000円（富山市からの補助）、協会補助30,000円、会場設営費等の支出合計114,662円、収支差額15,338円が承認された。

○西日本（井上理事からの報告）

- ・「ひらくVol.4」のセミナーを「知っておきたいパッケージデザイン 印刷のツボ」と題して、3月16日、出席者59名、メビック扇町で2名の講師を招いて開催した。
印刷業界全体の需要が世界的に落ち込む中で、印刷による表現効果が売り上げに直接関係するパッケージ分野は注目が集まっているとのこと。
パッケージでは印刷されるものによって適した印刷方法があるが、お二人の講師にはその印刷方法についての解説や、その中でも軟包装材では欧米と比べて日本ではあまり使われていない「水性フレキソ印刷」の特徴を、サンプルを見せながら説明していただいた。
- ・他の理事からも、面白い内容なので情報を収集してみたいとの声があった。
- ・事業収支については、公益会計として収入合計44,500円、協会補助125,000円、支出合計116,204円、収支差額53,296円が、また、管理会計（交流会費）として収入150,500円、支出150,500円、収支差額 0円が承認された。

■以下は事業活動収支計算書に関する報告

○国際交流（森理事からの報告）

- ・ASPaCデザインコンペティションにおけるJPDA賞顕彰（公益会計）について、協会補助300,000円、諸謝金としての300,000円の支出、収支差額0円が承認された。

○コンペティション（小原理事からの報告）

- ・「日本パッケージデザイン大賞2017」の活動（公益会計）に対して、審査手数料、追加トロフィー賞状の収入合計12,258,882円、トロフィー等の制作費、会場設営費等の支出合計11,541,152円、収支差額717,730円が承認された。

○広報（永島理事からの報告）

- ・「広報誌年2回発行」の活動（公益会計）として、広告掲載費の収入合計1,230,000円、協会補助金1,760,000円、印刷製本費、制作費等の支出合計3,004,922円、収支差額-14,922円が承認された。

○インターネット（中越理事からの報告）

- ・「協会HP企画運営・更新、メルマガ・SNS発信、マイワークス等」の活動（公益会計）に対して、マイワークスの掲載費として1,241,000円の収入、協会補助980,000円、制作費等の支出合計1,558,364円、収支差額662,636円が承認された。

○総務（渡邊事務局長からの報告）

- ・「会員名簿作成」（法人会計）として、収入（広告掲載費）420,000円、協会補助87,000円、印刷製本費等の支出合計569,183円、収支差額-62,183円が承認された。

○アーカイブ（入江理事からの報告）

- ・「D-8デザインミュージアムに対応するJPDAの資料作成、及びアーカイブ」の活動（公益会計）として、協会補助484,480円、制作費、会場費等の支出合計351,849円、収支差額132,631円が承認された。

○デザイン保護（a）（小川理事からの報告）

- ・「HP上の委員会レポートページ」の活動（公益会計）として、協会補助302,000円、諸謝金等の支出合計262,286円、収支差額39,714円が承認された。

○デザイン保護（b）（小川理事からの報告）

- ・「D-8デザイン保護研究会への参加、2回の知財セミナー実施」（公益会計）に対して、収入（参加費）45,000円、協会補助160,000円、諸謝金等の支出合計233,993円、収支差額-28,993円が承認された。

○調査研究（加藤理事からの報告）

- ・「パッケージに関するアンケート実施と調査報告」の活動（公益会計）として、協会補助430,000円、制作費、印刷製本費等の支出合計428,050円、収支差額1,950円が承認された。

○東北プロジェクト（江藤理事からの報告）

- ・「おいしい東北～パッケージデザインコンペ・展覧会～」に対する支援活動」として（公益会計）、審査、レクチャー等の人的協力を行うとともに、東北の学生に対してデザインレクチャー、アスパックコンペへの参加促進を行った。

この活動に対し、協会補助280,000円、旅費交通費等の支出合計226,976円、収支差額53,024円が承認された。

○中日本（愛知・岐阜）（八木理事からの報告）

- ・「デザイナーセミナーの実施」について、収入6,000円（参加費）、協会補助66,000円、諸謝金等の費用合計33,800円、収支差額38,200円が承認された。

○アスパック（収益事業）（森理事からの報告）

- ・アスパックの「日本・アジア 学生パッケージデザインコンペティション」事業に関するアスパックからの受託金（収入）5,031,352円、制作費、Web制作費、会場設営費等の支出合計5,031,352円、収支差額 0円が承認された。
- ・他の理事から内容がわかりにくいとの指摘があったので、加藤理事長より、次回理事会で受託費の考え方、支出の詳細についてアスパック関係者、JPDA事務局から説明してほしいとの指示があった。

○出版（山崎理事からの報告）

- ・「PACKAGE DESIGN INDEX 2016」の発刊に関する事業（公益会計）として、収入577,368円（国内外の印税）、支出合計220,590円、収支差額356,778円が承認された。
- ・事業名のところの発刊年が間違っているとの指摘あり。
→平成29年を平成28年に訂正します。

第8号議案 平成28年度事業活動報告及び収支決算報告 承認の件

（1）平成28年度事業活動報告

渡邊事務局長から平成28年度事業活動実績が報告され、以下の2カ所以外は原案通り承認された。（総会資料では修正します。）

- ・(1ページ)『1』調査研究事業 (a) アンケート調査の実施及び調査報告会の開催』の文言
- ・(6ページ)『2』新年交流事業 (b) 中日本愛知・岐阜地区』の文言

（2）平成28年度収支決算報告

渡邊事務局長から、平成28年度の収支決算報告が正味財産増減計算書に沿って報告され、原案通り承認された。

全体の経常収益は予算6,938万円に対し実績は6,930万円で予算に対して8万円のマイナス

であった。内訳を見ると、会員数が減少していることから入会金・会費はマイナス、また事業収益・受託受取収益もマイナスだったが、雑収入の中の交流費預かり金（法人会計）がプラスだったため、全体では若干のマイナスで終了した。

一方、経常費用は予算6,917万円に対し実績は6,760万円で予算に対して157万円の内輪であった。これは、法人会計が福利厚生、租税公課、交流会費等の費目で予算を上回ったものの、公益事業と収益事業を合わせた削減額266万円がそれを上回った結果である。ただ、公益事業に向けた費用が予算に対して214万円少なかった点は注意を要する。

なお、経常費用に占める公益比率は昨年とほぼ同等の64.4%であった。

以上を総合した当期経常増減額は20.6万円の予算に対して170万円となり、予算に対して149万円のプラスであった。その内、公益目的事業の増減は217万円で前期の155万円を上回る結果であった。

また、アスパック事業は収益事業ではあるが、事業委託費を最終的にかかった費用で精算するため、収益、費用とも予算に対して52万内輪で終了した。

以上の結果、経常外増減の部を加えた一般正味財産期末残高は当初予算の3,486万円に対し、149万増の3,635万円で終了した。

なお、今期も公益活動強化に向け、2020年のオリンピックの年に迎えるJPDA創立60周年の公益記念事業費200万円の積み立てを継続し、海外からの人々を含め広く一般の人々にアピールできるJPDAならではの公益記念事業を引き続き検討していくこととした。

決算書に関しては、池田、時田両監事から監査報告書をいただいているので、平成28年度収支決算書の詳細は、5月初旬にお手元に送付予定の第36回通常総会議案書にて確認ください。

第9号議案 第36回通常総会の招集の決定 承認の件

1. 渡邊事務局長から資料に沿って、下記内容が提案され承認された。これは、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第38条に基づき第36回通常総会招集を理事会で決議したものである。

一、通常総会の日時及び場所

日時：平成29年5月30日(火) 午後3時30分～4時45分
場所：東京ガーデンパレス 2階「高千穂(A)」

二、通常総会の目的である事項

議題：第1号議案 平成28年度事業活動実績 報告の件
第2号議案 平成28年度収支決算報告 承認の件
第3号議案 平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案) 承認の件

- 三、第36回通常総会開催に当たり、通常総会に出席できない社員が書面によって議決権を行使しようとするときは、議決権を行使することができることとする。

2. 理事会設置一般社団法人においては、前条第二項の規定により社員が通常総会を招集するときを除き、前項各号に掲げる事項の決定は、理事会の決議によらなければならない

ない。

第10号議案 委員会報告

○西日本（梅原理事より、四万十デザイン会議についての報告あり）

- ・今回のタイトルは、行政と民間のコラボにはあえて触れずに、

『川から学べ J P D A しまんと 100人 デザイン会議』

としたい。

アイキャッチとして四万十市の佐田の沈下橋をイメージしたイラストをタイトルロゴの下に入れたいと考えている。（これは四万十市のリピーターに差し上げるバッチを模したもので、また来てほしいという意味を込めている。）

- ・集合は10:00に高知空港集合。そこから貸し切りバスで砂浜美術館を見て、13:00四万十市着（チェックイン）、14:30から「ローカル」と「グローバル」をテーマに梅原理事、加藤理事長の講演の後、二人によるトークバトルがあって17:00に閉会の予定。（40～50名の地元の方々が参加）

また、夜は地元の方も交えて17:30～20:30の間、商店街アーケードに畳を敷いた大交流会を行う予定。

翌朝は9:30出発。沈下橋を渡った後、屋形船に乗り、道の駅を散策して17:00に高知空港で解散の予定。

- ・会費は会員12,000円、非会員13,000円としたが、内容を考えれば去年の金沢と比べても決して高くはないと思う。また、参加者の航空券の手配（早割）は8月中旬以降なるが、バスの手配は早くしておきたい。

- ・事前告知については、理事会出席者の意見も入れて、5月15日にHPで「四万十デザイン会議が11月10日に行われる。先着100名の申し込みを6月1日より受け付ける。」ことのみ告知を行い、6月1日に梅原理事のイラストを入れた詳細スケジュールを案内し、申し込み書をダウンロードして申し込みが受け付けられるように進めることになった。

○調査研究（小川理事から）

- ・6月1日にデザイン保護のセミナーを予定しているが、これまで理事の方の出席が少なかったため、今回は是非出席するようお願いしたいとの案内があった。

第11号議案 事務局報告

渡邊事務局長から、下記の案内があった。

1. 第36回 通常総会、その他スケジュールについて

- ・加藤理事長より、記念講演会については亡くなられた田川さんを偲んで「パッケージデ

ザイナーのコレクションと仕事」というテーマのパネルディスカッション形式で考えているとの補足があった。(加藤理事長、犬塚氏、高橋氏、津島氏の4名が登壇)

2. 以下については資料参照とした。

- ・平成28年度 入会・退会者一覧について
- ・協会名義使用承認の件について
- ・2017年JPDAカレンダーについて

第12号議案 次回理事会開催スケジュール

日時：平成29年5月30日（火）午後1時～3時20分

場所：東京ガーデンパレス 3階 「白鳳」

東京都文京区湯島1-7-5 TEL. 03—3813—6211

※ 定例理事会終了後に第36回通常総会、記念講演会、交流会の開催を予定しています。